

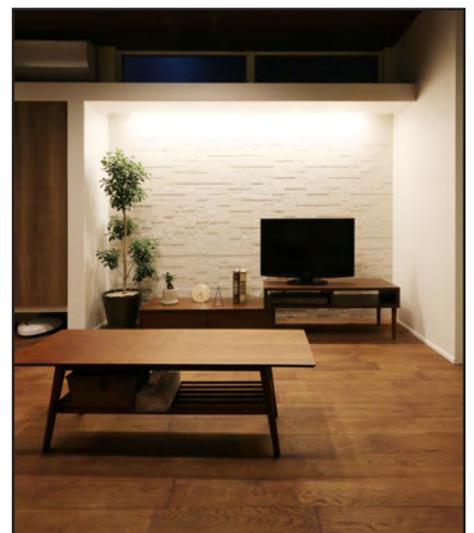
Tak-n' s Works 2017.06  
廿日市市大野の家【Y邸】

2017.06

中庭を取り囲む、年中カーテンレスで過ごせる家  
夫婦 / 延床面積 34.88 坪 (地上 2 階建)



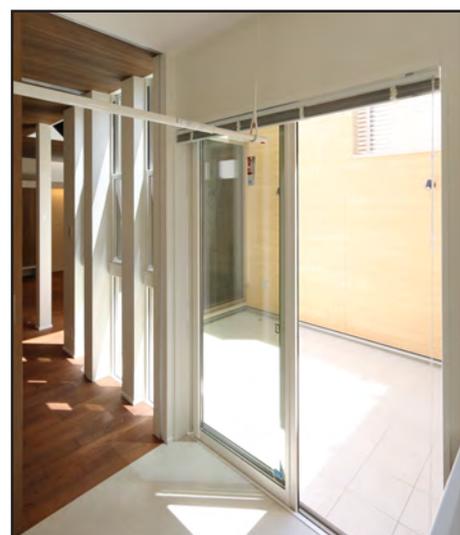
「中庭」と言うと、一般的に思い浮かぶのが、建物の一部に凹部分をつかって庭にする“コの字形”のプランではないでしょうか？しかし、中庭の設け方は目的に応じて多種多様。Y様邸は建物を“L字形”として、入角の部分に中庭を設けました。開く空間と閉じる空間、中庭に面する空間を分類し、建物の形や部屋の配置を検討することにより、プライバシーと採光という相反するご要望を高次元で両立することができます。





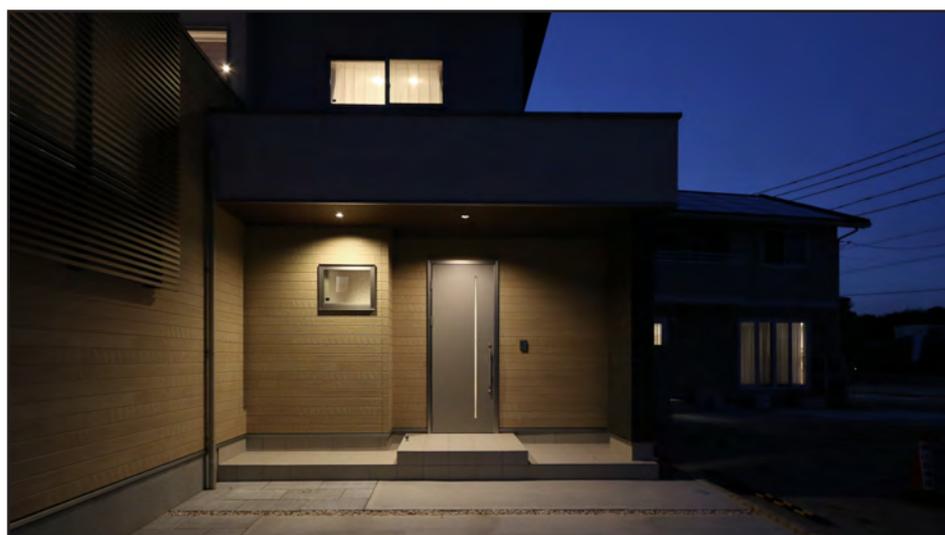
南側道路の地型の良い 45 坪の土地。最高な条件に感じる土地ですが、設計者の視点に立つと、プライバシーの確保と外観デザインに対するアプローチが非常にデリケートだったりします。Y様もまさにその「プライバシーの確保」に重点を置かれており、「明るく、いつもカーテンレスで過ごせるようなプライバシーの確保された家」をご希望されました。そのご希望に対する応えは「中庭」。LDK を敷地の北側に配置し、南側に水回りを配置するという通常とは逆の発想に至った。これは、「共働きのY様は室内干しがメイン」だから洗濯スペースが南側、「衝立壁で通行人からの視線をカットすると同時

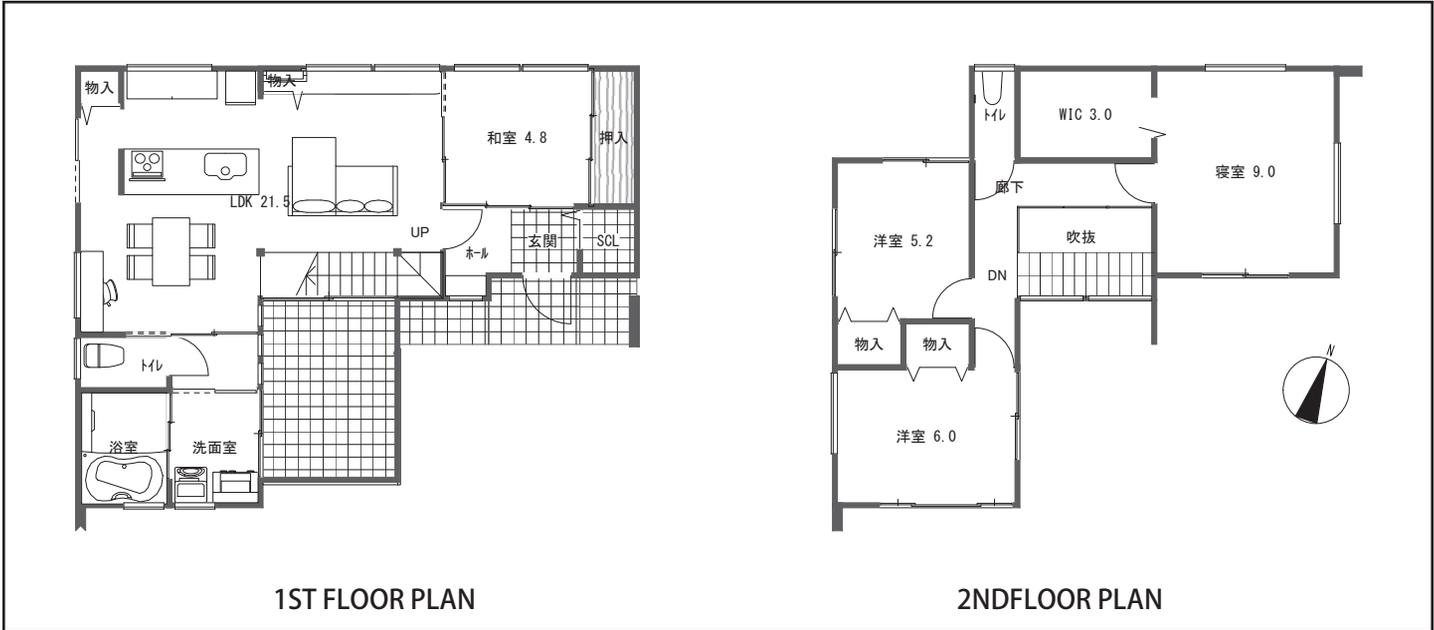
に、道路とリビングの距離を取り、道路向かいの家からの日当たり影響を受けないようにし、2階からの視線もカットする」ことを目指すと必然とも言えるアプローチでした。南側の大きな窓に加え、効率的に設けた吹抜けの窓から光が落ち、プライバシーの確保された和室と LDK と中庭を合わせて 30 帖にも及ぶ大空間で寛ぐ。そんな至極の生活を愉しむことができるのが Y 様邸です。





窓は高い位置に設けたほうが、入ってくる光の量が多くなります。昼間の太陽の光は上から差し込むので、下がり壁の下に設けるより、天井ギリギリに設置したほうが光がたくさん入るわけです。多少日当たりが悪い方位や立地でも、窓を高くすれば思った以上の光量を得られますし、室内の奥まで光が差し込み、明るい居室を実現できます。加えて、吹き抜けをうまく併用し、上部からの光を加えることができれば、一日中気持ちの良い光を受けながら生活ができる住まいとなります。





1ST FLOOR PLAN

2NDFLOOR PLAN

**DATA**

所在地 / 甘日市大野  
 家族構成 / 夫婦  
 構造規模 / 木造、地上2階建て  
 延床面積 / 115.31 m<sup>2</sup> (34.88 坪)  
 1階床面積 / 63.97 m<sup>2</sup> (19.35 坪)

2階床面積 / 51.34 m<sup>2</sup> (15.53 坪)  
 用途地域 / 近隣商業地域  
 竣工年月 / 2017年6月  
 建築価格帯 / 2,500 ~ 2,600万円

**FINISHES**

**外部仕上げ**  
 外壁 / サイディング  
 屋根 / ガルバリウム鋼板  
**内部仕上げ**  
 床 / オーク無垢フローリング

建具 / 既製シート張り建具 (ハイドア)  
 壁・天井 / クロス張り・エコカラット  
**主な設備機器メーカー**  
 キッチン / LIXIL  
 パス・サンタリー / TOTO